

岩沼市津波避難訓練において避難状況を調査しました(2013/9/1)

テーマ：防災訓練・津波避難訓練
場所：宮城県岩沼市

9月1日(日)防災の日、宮城県岩沼市において東部地域の住民を対象とした津波避難訓練が行われました。岩沼市では昨年度に引き続き大規模な避難訓練となり、市民や小中学生などおよそ1,300人が参加しました。

災害科学国際研究所からは平川新所長、小野裕一教授、遠田晋次教授、サッパシー・アナワット准教授、久利美和講師、杉安和也助教、保田真理助手、安倍祥助手、福谷陽助手、鈴木康夫共同研究員、木村裕行共同研究員が、そして東北大学リーディング大学院生(グローバル安全学トップリーダー育成プログラム)も参加し、東部地域の避難状況や各機関の対応状況などを調査しました。

避難訓練の終了後、岩沼市役所において現地調査結果の報告を行い、各地区の避難状況や、避難場所での対応状況について情報共有と交換を行いました。平野部に広がる同市東部地域では高台や公共施設などの避難場所が限られる状況にありますが、各地域で事前に申し合わせた場所には多くの市民が徒歩や自転車等を活用して避難しており、避難する自動車の渋滞や混雑は見られませんでした。避難場所には町内会などが準備する安否告知表が掲げられ、地域の避難状況を把握できるような工夫も見られました。

昨年度に引き続き、岩沼市防災課と当研究所による共同アンケート調査を実施し、避難された市民から避難方法や避難時の課題など多数の回答をいただきました。また、今回の調査では自動車で避難された方から同乗者数や避難経路などの回答も得ており、自動車による避難方法も含め、アンケート結果の分析や避難状況の検証を進め岩沼市とも共有して参ります。



仙台東部道路避難階段での避難状況



岩沼市役所で行った現地調査報告

文責：安倍 祥（寄附研究部門）